PDF Compressor Free Version

やさしい街づくり！元気な長崎！

長崎市議会議員

いつわ清隆だより 第74号

令和２年11月　発行責任者：五輪　清隆　編集責任者：福田　剛　長崎市水の浦１の１　TEL861-6032

市民体育・レクレーション祭（ボウリング競技にて）

晩秋の候、皆さまに於かれましては益々ご健勝にて、ご活躍のこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の終息を願う

「新型コロナウイルス感染症」は、日本国内で1人目の感染者が発覚した今年1月16日から、約10か月経過しても終息の兆しが見えない状況となっています、10月1日現在で世界全体では感染者数は約３４００万人・死亡者は１００万人を超えて、日本国内では感染者は約８万３千人・死亡者１５６４人と報道されています。

長崎県内での感染者は２３８人・長崎市は63人でありますが、そのような中、国内では経済活動の活性化策としてGoToトラベルキャンペーン等が始まりましたが、感染者が増加しないか心配されていますので、今まで通りの三密対策を徹底しなければなりません。

長崎市では国の感染対策基準が見直された事を受けて各種イベントや地域行事の人数制限などの緩和がされましたが、いつ感染者が発生するかわからない状況でありますので、行事開催を行う場合は対策を行い充分注意していきましょう。

新議長に「井上重久」氏を選出

長崎市議会は9月11日に最終本会議を開会し、「佐藤正洋」議長（明政クラブ）より辞職願が提出され、議長選挙で第57代議長に「井上重久」氏（市民クラブ）が選出されました。

新議長として新型コロナウイルス感染症拡大対策・議会運営などご苦労も多いと思いますので協力して行かなければなりません。

市民体育・レクレーション祭に参加しました

10月11日（日）に市民体育・レクレーション祭（ボウリング競技）が開催され、私は長崎市ボウリング協会の会長として参加しました、今年7月には会長杯を計画していましたが、コロナウイルス感染症で中止となりましたが当日の競技運営は役員が中心となり感染対策に注意して開催することが出来ました。

身体に充分に注意して下さい

今年も残り2か月となりましたが、寒さも厳しくなる季節になりますので、コロナウイルス感染症・インフルエンザに充分に注意して頂きたいと思います。

私も市会議員として、市民の皆さんが「安全で安心して生活できる環境つくり」に向けて諸活動を積極的に行っていく決意です。

皆様方には更なるご指導・ご支援をよろしくお願い致します。

長崎市議会議員　**五輪　清隆**

活力ある住みよい長崎をめざして

令和3年度「政策要求」を行う

市民クラブは、令和２年10月９日（金）に田上市長へ、令和３年度予算編成に向けての政策要求書を提出しました。

今年発生したコロナウイルスは、県内のさまざまな職業の方々や市民の皆様の生活、及び経済活動に多大な影響を及ぼしており、先行きが見えない状況にあります。

市民クラブは安全、安心で持続可能な新たな社会経済の構築に向け、新型コロナウイルスの影響に対応した政策、働く方々や市民の立場にたった政策を要求いたします。

今年度においては、高齢者交通費助成のＩＣカード化（バス、電車）など一定の成果がみられましたが、人口流出には歯止めがかからず、長崎市は昨年と同様に転出超過が２，７７２となり全国の市町村で２年連続ワースト１となりました。

本年も、市民クラブとして市長が令和２年度「施政方針」で掲げた、６つの重点プロジェクト「こども元気プロジェクト」「長崎×若者プロジェクト」「住みよかプロジェクト」「産業を育てるプロジェクト」「まちをつなげるプロジェクト」「まちＭＩＣＥプロジェクト」のほか、令和２年度からスタートした「まち・ひと・しごと創生総合戦略」などに関する要望や人口減少問題、大型事業、平和問題とともに本年度は新型コロナウイルス対策を新たに追加した要望を従来の内容も踏襲し、政策要求を大きく９項目取りまとめました。

◆令和３年度の主な重点課題（抜粋）◆

(1)安心して子どもを産める環境づくりと健全な子どもを育てる社会づくりの促進に努めるとともに、子育て世代を支援するために「子育て支援センター」未設置地域への設置を進めること。

(2)長崎みなとメディカルセンターは、医療サービスの向上はもとより、安定した高度医療・周産期医療を提供できる病院として安定経営を構築すること。

(3)仮称「地域コミュニティ連絡協議会」の設置については、地域事情に合わせて自治会や各種団体などへの十分な説明と地域住民への意見を聴取し十分な理解のもと進めること。また、地域の担い手が少ない小規模なコミュニティに対しても積極的な支援を行うこと。併せて、自治会加入率の低下に歯止めをかける対策にも努めること。

(4)小中学校の学校統廃合の実施にあたっては、地域住民・保護者の意向も尊重し十分な理解と協力を得て行うこと。

(5)ものづくり産業（中小企業）への行政支援と、きめ細かな経営支援を図っていくこと。

(6)企業誘致で雇用確保、定住人口の維持
●将来を担う若年者の県外流出防止策の取り組みを強化・推進するとともに、企業誘致についても県と連携を図り、正規雇用の拡大に向けて全力で取り組むこと。また、Ｕ・Ｉ・Ｊターンに対する定住支援策を図ること。

(7)長崎駅周辺（尾上町～幸町）の環境整備
●新市庁舎・新たな文化施設・ＭＩＣＥを含めた長崎駅周辺整備・新幹線整備と連続立体交差事業と民間で建設計画のスタジアム等大型事業の建設については、それぞれの関係先と連携のもと、完成後の交通体系など十分精査し万全を期すよう努めること。

(8)市民の不安払しょくのため、ＰＣＲ検査の拡充を図ること。また、感染者やその家族と関係者及び濃厚接触者への誹謗中傷と風評被害対策として「ストップ・コロナ差別の宣言」を早急に行うこと。

(9)緊急事態宣言が発動された場合、事業者への休業要請は必要と考えるが、その際は休業補償（困窮度の度合いに応じた協力金）の財源確保については県と連携して国に働きかけること。また、今後、会社廃業が予想されるため、失業者が出た場合は転職・教育支援制度を創設すること。

いつわ清隆の主な役職

【議会】
- 建設水道委員会委員
- 議会運営委員会委員
- 長崎市議会核兵器廃絶議員連盟会長
- 長崎市議会大村湾横断浮橋架橋推進議員連盟副会長

【行政】
- 長崎市行政改革審議会委員

【地域】
- 女の都自治会会長
- 西浦上東部地区自治連合会副会長
- 女の都地区青少年育成協議会顧問
- 長崎市消防団第三分団後援会副会長
- 長崎市社会福祉協議会西浦上東部支部副支部長

【その他】
- 長崎市ボウリング協会会長
- 瓊浦学園評議員

ホームページアドレス　http://www.k-itsuwa.com/

PDF Compressor Free Version

令和2年9月議会

一般会計補正予算（総額約57億930万円）36議案を可決

長崎市議会・令和2年9月定例会は、9月1日(火)から11日(金)までの11日間の会期日程で開催され、議案審査(常任委員会)を優先し、その後の一般質問では本会議場はコロナウイルス感染症対策として、議員の自主的離席・傍聴の自粛や出入り口を開放して行いました。

一般会計補正予算では、国の補正予算に係る緊急経済対策など総額約57億930万円が可決されました。

今議会の補正予算に、私が今年3月議会の一般質問で要望していました、「もみじ谷葬祭場の建て替え」の基本構想を策定する審議会開催の「新火葬場整備推進費」が上程されました。

条例改正案は36議案を原案通り可決・同意されました。

さらに、「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財源の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める」意見書は全会一致で承認されました。

主な補正予算の内容

◆**長崎開港450周年記念事業費……653万1千円**

令和3年度に開催する長崎開港450周年記念事業に向けた広報に係る経費等に係る負担金を増額するもの。

◆**定住促進費……770万円**

長崎県外から本市へ移住し、必要な要件を満たした中学生以下の世帯員がいる子育て世帯の者に支給する子育て世帯ウェルカム補助金を増額するもの。

長崎ブリックホール

◆**長崎ブリックホール運営費……408万6千円**

オンラインを活用した新しい生活様式での芸術文化活動ができるようにするため、カメラ、大型ディスプレイ、パソコン等の購入経費を増額するもの。

◆**チトセピアホール運営費……1,559万円**

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、利用料金収入が減少している利用料金併用制の施設の指定管理者に対し、令和2年度の影響額相当分に係る経費を増額するもの。

◆**長崎ブリックホール整備事業費……810万円**

無線LAN(Wi-Fi)を整備する経費を増額するもの。

◆**指定管理者候補者選定審査会費(仮称)長崎のもざき恐竜パーク……35万7千円**

恐竜博物館を含めた周辺施設について、指定管理者候補者選定審査会を開催するもの。

◆**平和推進費「長崎クスノキプロジェクト」推進費……1,258万4千円**

被爆75周年の今年、被爆樹木を世界平和のために活用する「長崎クスノキプロジェクト」を立ち上げ、被爆樹木に関するストーリーを様々な手法で紹介することにより、被爆の実相の継承及び平和の発信に取り組むもの。

山王神社クスノ木

◆**野母崎田の子地区再整備……7,900万円**

野母崎田の子地区再整備事業に併せ、旧野母崎福祉保健センターを休憩施設として活用するため、建物の改修工事を行う。

◆**長崎ペンギン水族館運営費……7,310万9千円**

新型コロナウイルスの影響による利用料金経費補助及び、ポストコロナ社会に対応するための密集状況情報発信等に伴うウェブ改修を行う。

◆**平和施設管理運営費……9,761万5千円**

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、利用料金収入が減少している利用料金併用制の施設の指定管理者に対し、令和2年度の影響額相当分に係る経費を増額するもの。

①長崎原爆資料館…8,150万4千円

②永井　隆記念館…37万7千円

③平和会館…1,573万4千円

長崎平和会館

◆**子育て応援特別給付金**

新型コロナウイルス感染症の流行により、妊産婦は日常生活等が制約され、自身のみならず胎児・新生児の健康などについて、強い不安を抱えて生活している状況にあることから、妊産婦とその子育てを応援する為、特別定額給付金の対象にならなかった4月28日以降に生まれた子どもを対象に「子育て応援特別給付金」を給付する。

対象者：令和2年4月28日から令和3年4月1日までに出生し、申請日に長崎市の住民基本台帳の登録されている子ども

給付額：給付対象者1人につき10万円

もみじ谷葬祭場

◆**新火葬場整備推進費……32万7千円**

もみじ谷葬祭場の建て替えに係る基本構想を策定するため、審議会の開催などを行う。

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の収束が、未だに見通せない状況の中、「新しい生活様式」を定着させるとともに、安全な医療体制を確保して感染症の拡大防止を図りながら地域経済の回復を目指していく必要があります。

また、少子高齢化の進展などにより、社会保障関係経費は右肩上がりとなる中、地方自治体の行政需要への対応が増すばかりでなく、長期化する感染者対策にも迫られ、地方財政は巨額の財政不足を生じ、これまでにない厳しい状況に陥ることが予想されます。

加えて、長崎市では、人口減少が加速する中にあって、住民福祉の維持、生活環境の整備など、困難な対応を求められています。

よって、国におかれては、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、左記事項を確実に実現されるよう、強く要望します。

記

1．地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税などの一般財源総額を確保すること。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保すること。

2．地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能の両機能が適切に発揮できるよう総額を確保すること。

3．令和2年度の地方税収が大幅に減収となることが予想されることから、思い切った減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目についても、地方消費税を含め弾力的に対応すること。

4．税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系の構築に努めるとともに、国税・地方税の政策税制については、積極的な整理合理化を図り、新設・拡充・継続に当たっては、有効性・緊急性を厳格に判断すること。

5．固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹に影響する見直しは、土地・家屋・償却資産を問わず、断じて行わないこと。先の緊急経済対策として講じた特例措置は、臨時・異例の措置として、やむを得ないものがあったが、本来国庫補助金などにより対応すべきものである。よって、今回限りの措置とし、期限の到来をもって確実に終了すること。

6．事業所税は、都市の重要性が高まる中、都市環境の整備・改善に関する事業の費用に充てる目的税として、都市運営に欠かせない貴重な財源となっており、制度の根幹に影響する見直しは断じて行わないこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年9月9日

長崎市議会